



NO. 262

2015. 4. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 小泉 いと子

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

新年度を迎えて ～法人内各施設より～

平成27年度となり、法人内事業所においても管理者をはじめ人事異動がありました。

4月号では各事業所の管理者から平成27年度の抱負や思いを掲載いたします。



大阪市育成会は二十歳を迎えます

法人事務局
総務部長 飯塚 聡

今年の12月に大阪市手をつなぐ育成会は設立20年を迎えます。

そこで今年度は、今まで受け継がれてきた想いや価値も大事にしなが、新しい考え方や方法を取り入れて、時代に合うような組織づくりが出来ればと考えています。

近年、大阪市手をつなぐ育成会で抱えている大きな課題としては、会員組織の次世代継承になります。大阪市手をつなぐ育成会全体としても、各支部としても新規の会員さんがなかなか入ってこないという問題を抱えております。全国の各地区育成会においても同じ状況にあります。

それでは20年前と比較して何が変化してきたのでしょうか？

90年代のバブル期を契機に福祉サービスの各種制度が整ってきた側面もありますが、親が子を育てるという状況については大きな変化はありません。一方、



今まで行われてきた全日本育成会(当時)の各種大会や会議の席でよく言われている原因の一つとしては、インターネットが普及していない時には、全日本育成会の機関誌『手をつなぐ』が中央の動きや会員の色々な体験を得る手段でありました。その後、パソコンが各家庭に1台は所有するようになり、携帯電話が数字上1人1台を持つようになるといった情報化社会の成熟により、育成会に入っていないでも情報を得ることが容易になったという点については否めません。しかし、子育てをするうえで、このような情報は大事かもしれませんが、得ることができた情報を実際の生活に活用する方法については、色々な方の考え方を見聞きすることによって、アイデアが生まれ、我が家風・我が子風にアレンジすることができるのではないのでしょうか。つまり、“Face To Face”の場も必要ということで、まだまだ育成会の必要性は残っていると思われます。この課題は全国的にも大きなものではありませんが、大阪市育成会としましては、小泉理事長をはじめ役員を含め法人全体で、この大きな課題に対して少しずつでも解決していく方法を見出していきたいと思ひます。

最終的な目標としましては、昨年度もこの紙面で同じことを書かせていただいておりますが、会員の皆さまにとっても、職員にとっても「大阪市手をつなぐ育成会にいて良かった。」と言っていただけるようになるとともに、次の世代に向けてバトンを渡す土台ができればと思ひます。そのためには、法人本部と各事業所も含め、会員の皆さまとともに、よりよい大阪市手をつなぐ育成会になるように努力して参りますので、今後とも、皆さま方のご支援の程をよろしくお願ひ致します。

